

郵  
報知新聞  
便 錦馬第 四号

大坂府下新箱村百姓播次喜松と當  
世生一あるが自村四川某の娘ふは八半  
ありと知りし各親の許とぬ可詮  
現世で添とれぬの常又夕で明治  
八年五月廿日夜同區棚田池に拍子  
を相着小投身せし然に吉松と  
平常海を寄めバ苦いもに及  
かぬ情状のまらち忘れ自然と  
働く自奔手定とらひ陸這上り  
今更命をわたり其場を逃て  
羽室村の水車孤家にかみしを扱  
三童子小着脱られせんくも有者  
帰る吉郷のようたににがと日捕せ救日  
ひんて食とるく 鐵鬼の如く水諫の  
たり助命せし 藝へ身を助る不  
の世を世評す 囃し たを



坂元池田傳長  
筆者川上成和

